





柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり

年齢や性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、誰もが、ともに生き、支えあい、自分らしくらすことができるしくみづくりや、県民が安心できる保健・医療体制の整備に取り組み、いのちが輝き、生き生きとくらす神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

-  医療の先進県として、こころとからだの健康を“守る”
-  病気にならないくらしを“創る”
-  誰もが生きがいを持ってくらしを“楽しむ”
-  年齢・性別・国籍などにかかわらず、お互いに“尊ぶ”



医療の現場(処置をする医師たち)

プロジェクト

6 高齢者が生き生きとくらす社会づくり

- 1 地域包括ケア・認知症ケアの推進
- 2 高齢者が安心してくらすまちづくり
- 3 高齢者の健康・生きがいづくり

高齢者を標準とするしくみづくり

7 県民が安心できる保健・医療体制の整備

- 1 地域に根ざし開かれた医療の推進
- 2 がん対策の総合的な推進
- 3 医食農同源など病気にならない取り組みの推進

県民や患者が納得する医療先進県の実現

8 こころといのちを守るしくみづくり

- 1 自殺対策の総合的な推進
- 2 精神科医療体制の整備・充実

こころの健康を保持し、いのちを大切に生きがいを持ってくらす社会の実現



医療のグランドデザイン

高齢化の進展による救急患者の増加や医療人材の不足など、様々な医療の課題に対応するとともに、医療の受け手である患者、家族が納得できる医療を推進するため、都道府県初の医療全般にわたるグランドデザインを策定します。

また、情報通信技術（ICT）を活用して、カルテなどの医療情報を患者や病院内外で共有するためのモデル事業などに取り組みます。





医食農同源の推進

医食農同源とは、病気を治療するのも、日常の食事をするのも、ともに生命を養い健康を保つために欠くことのできないもので、源は同じだという考えに、さらに食材等を育てる「農」を取り込んだ健康観です。この医食農同源を推進し、食生活習慣の改善などの取組みと併せて、若い人も高齢者も、病気にならずに元気で健康にすることをめざします。



9 障害者の地域生活を支えるしくみづくり

- 1 「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実
- 2 「いきがい」を高める社会参加や就労の支援
- 3 バリアフリー化の推進など「ささえあい」の環境づくり

障害者が安心してくらしをらせる地域社会の実現

10 男女がお互いを尊重しともに活躍できる社会づくり

- 1 男女共同参画の推進
- 2 男女がともに働きやすい環境づくり
- 3 配偶者などからの暴力防止と被害者への支援

男女共同参画社会の実現

11 多文化共生の地域社会づくり

- 1 外国籍県民がくらしやすい環境づくり
- 2 神奈川県でくらし学ぶ留学生への支援
- 3 多文化理解の推進

多文化共生社会の実現

12 健康で豊かな人生を築くスポーツ振興

- 1 ライフステージに応じたスポーツ活動
- 2 誰もがスポーツに親しめるしくみ・場づくり

誰もがスポーツに親しめる社会の実現